



滝沢市自治会連合会

創立 50 周年記念誌発刊を祝して

滝沢市長 主 濱 了

滝沢市自治会連合会創立 50 周年を迎え、ここに記念誌の刊行をみましたことは誠にご同慶にたえず心からお祝い申し上げます。

自治会連合会におかれましては、市内 32 の自治会が連携し、市政の発展、安全・安心な住みよい地域づくりのために、重要な役割を担ってこられました。

また、東日本大震災をはじめ、全国各地で発生した地震や台風等の自然災害において、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、市内全域で行った義援金の募金活動や、飲酒運転撲滅のため交通ルールの順守を市民へ呼びかける誓約書への署名活動など、滝沢市外にも目を向け、市民一丸となった取り組みをされてきたことに衷心より敬意を表するものであります。

このような日々の活動が評価され、平成 29 年には、地方自治の伸展に努めた団体と個人を表彰する総務大臣表彰を受賞されましたことは大変喜ばしく心強い限りであります。

さて、この 50 年の滝沢を顧みますと、昭和後半の 20 年間は、人口の増加にともなう急激な都市化に対応した学校、公共施設、道路、下水道等のインフラ整備を中心とした施策を展開してまいりました。また、平成 20 年代前半は、バブル崩壊後の長引く景気の低迷、少子高齢化などを受けて、様々な行財政改革に取り組んでまいりました。

近年においては、多様化する住民ニーズや刻々と変化する地域環境を受けて、ウォーキングを通じて自分の健康を獲得する「滝沢市健幸ウォーキングトライアル事業」、市内の様々な産業の持続的発展により地域を活性化するための「産業振興条例」の制定、さらには、中心市街地の形成についての検討に取り組んでいるところであります。

令和 2 年年頭から社会活動に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、日々の暮らしが変化し、地域で過ごす時間が増えている中、人と人とのつながりをつくる地域コミュニティの役割が高まっています。

このような状況において、市民一人ひとりが生きがいややりがいを感じ、充実した人生を送るためには、自治会連合会並びに各自治会、議会、行政が一体となった地域づくりが必要であります。市民主体の地域づくりを推進するため、今後も、皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

滝沢市自治会連合会の活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを心からお祈りいたしまして、記念誌刊行のお祝いの言葉といたします。